

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 梶山 広美
 編集人 山田 真

No.397 目次

- ◆第16回愛知県医学検査学会のご案内 … (2)
- ◆西三河地区研修会
「職場におけるメンタルヘルス」に参加して… (4)
- ◆尾張南地区研修会に参加して…………… (4)
- ◆平成27年度新人サポート研修会 …… (5)
- ◆知多地区研修会に参加して…………… (7)
- ◆地区だより…………… (8)
- ◆広報部からのお知らせ…………… (8)
- ◆研究会…………… (9)
- ◆会長講演
「最近の医療情勢と臨床検査技師」………… (10)

平成27年度を迎えて

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
 会長 梶山 広美

平素は、当会の事業活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成27年度の事業が始まりました。また、我々臨床検査技師においては、この4月1日から、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律により、臨床検査技師等に関する法律の一部が改正され、臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取が追加されました。今年の1月より『検体採取等に関する厚生労働省指定講習会』が全国で開催され、この地方では、名古屋市で開催しております。この業務範囲の拡大に伴い、平成27年4月1日の時点で既に臨床検査技師免許を取得している者等においては、この研修会を受講することが義務付けられています。ほぼ毎月研修会が開催される予定です。早めの受講をお願いいたします。

さて、年頭のあいさつでも申しあげましたが、当会では、平成27年度以降3年間の事業方針と計画を立案しました。平成27年度は、総務部門において、公益社団法人の運営基盤の確認と長期的財務計画を立案します。今年は、法人監査もあります。学術部門は、学術研究班の活動強化のための方策について検討します。渉外部門では、地区活動の強化を行います。職能団体としての組織強化では、臨床検査技師の認知度を上げること、具体的には学生へのPR活動や会員への情報発信の充実を行っていきます。今年度も、当会の事業目的を達成するため①精度の高い臨床検査を提供するための、専門的知識・技能の普及や人材の育成を行う事業 ②医療関連施設への臨床検査精度向上の推進及び支援に関する事業 ③県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業について、新しい企画や継続事業を行っていきます。

また、中期的な計画の中には、平成29年度中部圏支部学会の開催が、愛知県の担当となること、平成30年には中部圏支部（開催県は未定）が全国学会の担当となります。日本臨床衛生検査技師会との連携においては、「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」「検査と健康展」も行います。そして、ご案内になりますが、平成28年8月31日から9月2日にかけて日本（神戸）において第32回IFBLS学会が開催されます。是非、この学会にも演題を登録し発表していただきたいと思っています。

医療を取り巻く環境は、少子・超高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療提供の場の多様化等により大きく変わってきています。質の高い医療サービスの提供者として幅広い役割を担っていく必要があります。そのためにも、会員1人1人に支援ができるような事業を展開していきたいと思っています。

最後に、当会のホームページをリニューアルしますので、最新の情報はホームページを閲覧いただき、また、会員の皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

第16回 愛知県医学検査学会のご案内

会 期：平成27年5月31日(日)
受 付：午前10時より
会 場：名豊ビル7階・8階
JR豊橋駅より 徒歩5分
テ ー マ：「温故知新 ～新たな展開を求めて～」
交 通：〒440-0888 豊橋市駅前大通2丁目48番地
Tel：0532-55-7235
(会場に駐車場はありません。第1地下
駐車場・パーク500(いずれも有料)を
ご利用ください。)
参 加 費：2,000円
参加資格：資格を問わずどなたでも参加できます。

【学会内容】

1. 開会式：10時40分～10時50分
第1会場／第2会場
(第2会場にてサテライト放映します。)
2. 一般演題発表(41題)
10時50分～11時50分／12時55分～14時10分
第1会場(8F：コミュニティーホール)
生理／輸血・生物化学分析
第2会場(8F：ホールD・E)
微生物／生物分析化学・血液
第3会場(7F：ホールA・B)
管理運営／病理細胞
3. ランチョンセミナー：11時55分～12時50分
●第1会場(8F：コミュニティーホール)
「敗血症診断におけるPCT検査と乳酸検査の有
用性(SSCG2012敗血症ガイドライン)」
〈シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株〉
●第2会場(8F：ホールD・E)
「臨床検査室の品質保証～自身の経験から」
〈ロシュ・ダイアグノスティクス株〉
●第3会場(7F：ホールA・B)
ペプシノゲン検査について
〈アボット ジャパン株式会社〉
●第4会場(7F：ホールC)
第3世代PTH(whole PTH)測定の臨床的意義
〈富士レビオ株式会社〉

4. 公開講演：14時15分～15時15分
司会：副学会長 南條 明德
テーマ「2015 海洋“楽”のススメ」
講師：海洋“楽”研究所 所長 林 正道先生
(第2会場にてサテライト放映します。)
5. 教育講演：15時30分～16時
司会：公益社団法人愛知県臨床検査技師会
会長 梶山 広美
テーマ「最近の医療情勢と臨床検査技師」
講師：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文
(第2会場にてサテライト放映します。)

6. 公開シンポジウム：16時05分～16時55分
テーマ「臨床検査技師の“臨床”を考える」
司会：学会長 田中 規雄
(第2会場にてサテライト放映します。)
1) 小牧市民病院 臨床工学科 神戸 幸司
2) 豊橋市民病院 看護局(ICN) 高橋 一嘉
3) 新城市民病院 臨床検査課 井上 博之

7. 閉会式：16時55分～17時

【懇親会】

時 間：17時15分～19時
会 場：第3・4会場(7F：ホールA・B・C)
参 加 費：5,000円

主 催：公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
運営担当：東三河地区
学 会 長：田中 規雄(豊橋市民病院)
副学会長：南條 明德(豊川市民病院)
実行委員長：三ツ矢康乃(豊橋市民病院)
副実行委員長：井上 博之(新城市民病院)
事務局長：山口 育男(豊橋市民病院)
TEL：0532-33-6111 FAX：0532-33-6178
E-mail：aichikengakkai16kai@yahoo.co.jp

【案内図】



学会抄録は、会員の皆様に配布します。学会当日は、用意いたしませんので各自ご持参ください。

最近の医療情勢と臨床検査技師

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

会長 宮島 喜文（長野県立木曽病院 特別顧問）

戦後70年を迎え、我が国はグローバルに展開する国際化や生命科学の発展、超高齢化の到来など新たな時代の中で、持続できる豊かな社会の実現に向けて模索している。

そこでは、1970年代の高度成長期に培われた体験を基に物事の組み立てを行うことが、通用しない時代となり、社会全体が大きく変革しつつある状況と考えている。

昭和36年に国民に平等で適切な医療を提供することを目的とした国民皆保険制度が創設され、その下に“世界一の長寿国”が誕生した。そして今日、医学・医療の現場では更に先進医療が拡大するとともに患者の人権や権利の尊重、少子超高齢化や財源不足の問題も直面している。

臨床検査においても診療技術の向上を図るため、新たな検査法や機器・試薬が次々に開発され、診断や検診の場面では臨床検査の存在は欠かせない。さらに、先端医療技術の進歩は限りなくつづき、いままでも早期診断ができなかった様々な疾病に対して、さらなる臨床検査技術の貢献が期待されている。

このように戦後間もなく誕生した臨床検査技師は我が国の保健医療の下で医療技術職として国民の健康と福祉に寄与し、貢献してきた。

また、日本臨床衛生検査技師会（以下“日臨技”と略す）は昭和27年に創立して以来、臨床検査技師の地位向上のために、身分法の制定や改正に取り組むとともに日本医学検査学会を開催するなど学術振興

に努めてきた。しかし、残念ながら、社会的評価という視点では、医師・薬剤師・看護師・放射線技師などと比べ、今だ十分ではなく、近年、臨床検査業界やチーム医療など医療現場において、他の医療技術職との相対的な存在感の低下も指摘されていた。

この現状を踏まえ、会長に就任して以来、「日臨技を新生させ、未来を拓く」を基軸にして、総務・学術・渉法の三分野から改革に着手し、未来構想の策定からさまざまな新規事業に取り組んでいる。具体的には、検査説明・相談のできる技師育成事業、検体採取等に関する臨技法改正、IFBLS学会国内開催を始め、国民への広報や組織基盤の強化などが挙げられる。また、厚生労働省など行政機関や日本医師会など医療団体、日本臨床検査医学会など学術団体などとの連携も進んでいる。

今後あらゆる難題に対して、“現実を直視し、解決の方策を考え、ともに行動する”という私の基本姿勢に変わりはない。

今回は、最新の医療情勢を踏まえ、10年後、20年度を見据えた“医療人としての臨床検査技師のあるべき姿”を皆さんとともに考えてみたい。

“未来に向かって、私たちは立ち上がった。周囲の山も動き出した。”

臨床検査技師の未来は決して暗くはない。私には明りが見えている。

5万人の会員が結集すれば、必ず輝かしい未来は実現できる”

西三河地区研修会 「職場におけるメンタルヘルス」に参加して

豊田厚生病院 下竹美由紀

近年、労働者のうちストレスを抱えている人の割合は多く、また心の健康に問題を抱える人が増加傾向にあるといわれています。今回の研修会では、職場のメンタルヘルスについて臨床心理士の立場からの講演とあって、大変興味深く傾聴させていただきました。いわゆる“うつ”とは何か？職場に多いうつについて、うつになりやすい人はどのような人か？どう予防し、どう対応したらよいのか？などについて、ご自身の経験を交えた大変わかりやすい内容の講演会でした。

職場での人間関係、長時間労働、過重な責任の発生などが要因となって精神症状・身体症状・行動面の変化など様々なストレス反応が発生し、これらの反応が続くと、うつ病であったり、胃・十二指腸潰瘍や高血圧症・心筋梗塞までもが引き起こされます。これらの身体症状を周囲が理解し、現れた症状を早期発見することで、いち早くストレス対策をとることができますが、心の健康問題は個々のケースで異なることが多く、誤解や偏見を生みやすいのもこの問題の特徴です。またこうしたメンタルヘルス不調は、すべての人が誰でもかかる可能性があり、職場

に与える影響も今や無視できなくなってきています。そのため働きやすい職場環境づくりこそがメンタルヘルス対策として重要となってきました。

2015年12月より改正労働安全衛生法が施行され、50人以上の事業所には労働者のストレスチェックの実施等が義務化されます。これは労働者自身によるセルフケア、および職場環境改善を通じてメンタルヘルス不調の未然防止を図る一次予防を主な目的としており、あくまでも個人情報保護しつつ、職場ごとのストレス状態の把握や、職場環境改善にも利用することができます。今回の研修会でも体験版のストレスチェックを実施していただきました。結果については後日個人宛に配送されるとのことでしたので、どのような結果が返ってくるのか少し気にしながら待っているところです。



尾張南地区研修会に参加して

名古屋記念病院 臨床検査部 東 恵莉奈

平成27年2月28日(土)に「我々の身近に潜む感染症」というテーマで愛知医科大学病院の角坂先生に御講演いただきました。普段あまり触れることのない寄生虫の感染症について、日常業務に必要な基礎的なことから調査法の詳細や昔から地方に伝わる治療法、また先生ご自身が実験台となりダニに噛まれたり蚊に刺された体験談を交えながら、内容は多岐にわたる魅力的な講演でした。臨床で見られる感染症について、寄生虫の発生しやすい場所や見つけ方、私たち検査技師が見落としとしてはいけない寄生虫など写真付きでわかりやすく解説していただきました。国内の検査室では検出される寄生虫は少なくなりましたが、途上国では依然として寄生虫感染率が高く、海外旅行者が多い現在、輸入症例として持ち込まれています。このことを常に考慮しながら新しい情報を収集し業務に取り組むことが必要であると

感じました。講演後半では実際に寄生虫の標本やスライドを観察しながら、角坂先生に直接質問できる機会も設けていただきました。その中では先生がその場でアメーバの生標本を作製してくださるなど大変勉強になる貴重な時間でした。今回の講演を通して寄生虫による感染症の奥深さを知り、以前より関心を持つようになりました。そして、寄生虫感染症の一次検査は顕微鏡による直接観察であることから糞便、尿中に排泄される寄生虫の形態を熟知し検査能力を高めておくことが重要と感じました。このような機会があれば次回も是非参加したいと思います。



平成27年度 新人サポート研修会

目的：新人技師を対象に、日当直に関連した内容の企画	12：05～12：25	③微生物検査研究班：微生物の基礎
日時：研修Ⅰ 平成27年6月27日(土) 14：00～17：30	12：35～13：35	ランチョンセミナー
研修Ⅱ 平成27年6月28日(日) 9：30～17：30	13：40～14：10	学術部企画：愛臨技、研究班の活動について
会場：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟4階第4講義室	14：10～15：25	④一般検査研究班：尿定性検査と髄液検査の基礎
申込：5月末日までにFAXにて事前申込 会場収容人数に制限がありますので、お早めにお申し込み下さい。	15：25～15：35	休憩
参加費：2,000円 テキストは当日配布します。 研修会Ⅰと研修会Ⅱはそれぞれ申し込み、受付が必要になりますが、参加費は研修会Ⅰ参加、研修会Ⅱ参加、研修会Ⅰ・Ⅱ参加ともに2,000円となります。	15：35～16：50	⑤生理検査研究班：心電図検査の基礎
その他：6月28日(日)のランチョンセミナー参加券は受付時に先着順となります。	16：50～17：05	⑥病理細胞検査研究班：病理・細胞検体の保存と処理方法
生涯教育：専門教科：各20点	17：05～	閉会式

※日本臨床検査技師会概要説明は新入会員および入会を検討されている方々（非会員）を対象に、技師会について説明を行います。該当される方は、是非参加をお願いします。また現在会員の方々も参加可能です。

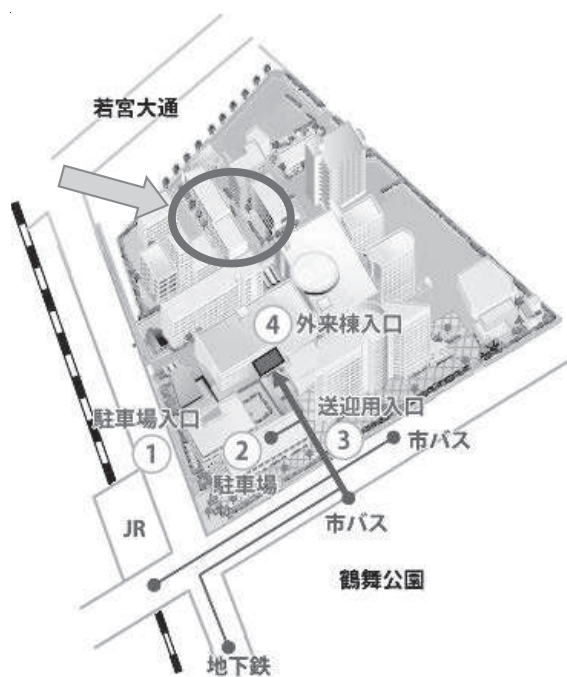
プログラム 6月27日(土) 新人サポート研修会Ⅰ (専門教科：20点)

13：30～14：00	受付
14：00～15：00	日本臨床検査技師会概要説明※ (新入会員および非会員対象)
15：00～16：15	①輸血検査研究班：輸血業務の基礎
16：15～17：30	②生物化学分析検査研究班：緊急検査関連の生化学・免疫検査について

プログラム 6月28日(日) 新人サポート研修会Ⅱ (専門教科：20点)

9：00～9：30	受付
9：30～9：40	開催挨拶とオリエンテーション
9：40～10：55	①血液検査研究班：緊急検査関連の血液検査について
10：55～11：05	休憩
11：05～12：05	②組織部企画：医療従事者の接遇基礎 中北薬品 森 有紀子様

会場案内図



<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/access.html>

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会宛
F A X 番号 (052) 586-5680

平成27年度 新人サポート研修会 申込書

日 時：平成27年 6 月27日(土) 14：00～17：30

平成27年 6 月28日(日) 9：30～17：30

会 場：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟 4 階 第 4 会議室

参 加 費：2,000円 テキストは当日配布します。

締 切：平成27年 5 月31日(日)

問 合 せ：名古屋市立大学大学院 滝野 寿 052-853-8161

htakino@med.nagoya-cu.ac.jp

施設名：	申込責任者：	TEL： FAX：
------	--------	--------------

参 加 者 名 (会員番号)		会員の区別	経験年数	6月27日	6月28日
例	愛知 花子 832490	会 員 申請中 非会員	2年	参加	参加
1		会 員 申請中 非会員			
2		会 員 申請中 非会員			
3		会 員 申請中 非会員			
4		会 員 申請中 非会員			
5		会 員 申請中 非会員			
6		会 員 申請中 非会員			
7		会 員 申請中 非会員			

※受付票は発行しません。

知多地区研修会に参加して

愛知県厚生連 知多厚生病院 山本 喜之

平成27年2月26日(木)に半田市医師会健康管理センターにて開催されました「知多地区研修会」に参加してきました。今回の研修会のテーマは「移植医療の現状について」でした。このテーマにふさわしい2人の先生よりご講演いただきました。

公益財団法人愛知腎臓財団 鳥羽美沙子先生からは日本の移植事情についてお話いただきました。実際の臓器提供者家族の承諾理由、家族の臓器提供をしたくないという人の考え方などを聞きましたが、それぞれの考え方に共感することがありました。

藤田保健衛生大学病院 移植医療支援室副室長 西山幸枝先生からは先生自身が経験した実症例を交えながらお話いただきました。臓器提供を望んだ場合でも血圧が低い場合は脳死判定ができないため臓器提供が出来ず、苦慮するという話を聞いた事がありましたが、今回お話いただいた症例も同じケースでした。そして先生自身とても苦慮されたとおっしゃっていました。また移植提供を望んでいても、移植

を目的とした転院は認められていないということを恥ずかしながら今回初めて知ることができました。

移植には、移植に対する人の考え方、臓器提供者数、制約など様々な問題があるのだということを今回学ぶ事ができました。また自分自身、移植について考える良い機会となりました。研修会後に、自分の周りの方にも移植についての考えなどを聞いてみましたが、様々な答えが返ってきました。また、脳死と植物状態の違いなどもよくわかっていないという返答もありました。

先生方が、移植件数をもっと向上させるために地道に講演会などをやっているとおっしゃっていましたが大変素晴らしいことだと思いました。僕も今回の研修会を受けて移植についての考えが少し変わりましたし、こういった研修をたくさんの方が聞き、移植件数が増加し救える命が増えていけばいいと思いました。

“脳死・臓器提供について考える”

知多市民病院 服部 聡

2月26日に移植医療の現状をテーマに知多地区学術講演会が開催されました。

私は、臓器移植に関して“法律が改正されて、15歳以下でも臓器提供が可能になった”ということぐらいしか知りませんでした。

講演会では、

- ・15歳未満は臓器を提供しない意思表示ができること（提供する意思表示はできない）
- ・本人の意思不明時には家族の承諾があれば臓器移植が可能になったこと
- ・親族優先提供について
- ・脳死下臓器移植のできる施設が限定されていることなど、臓器移植に関して多くの事を知ることが出来ました。

また、実際の事例における家族と移植コーディネーターとのやり取りを通じてドナー家族のリアルな心情と移植コーディネーターの苦悩が垣間見えました。

脳死に関するアンケート調査からは、脳死をもっ

て人の死とすることに対して、様々な意見があり、単純に割り切れるものではないということを改めて感じました。

私は今まで、身近で脳死・臓器提供を実感する経験がなく、そのような場面を想像したことがありませんでした。このような講演会を通じて多くの方々が脳死・臓器提供について考える機会が増えればと思います。特に、15歳未満でも臓器提供が可能になったことで、学校や家庭で、脳死・臓器提供について話し合う時間が増えることを望みます。

講演会終了後、私もさっそく意思表示カードに記入を済ませました。



一般社団法人 半田市医師会健康管理センター

健診事業部 白石 了三

半田市医師会健康管理センターは、知多半島の中央部に位置し、医師会の共同利用施設として昭和42年に登録衛生検査所を開設し、昭和46年に診療所を併設しました。

現在では、主に健康診断事業・臨床検査事業・環境測定事業を展開し地域医療に貢献しています。

健康診断事業では、人間ドックや脳ドック、心臓ドックまた、各種がん検診を実施するとともに健康指導および健康教育など健康保持増進事業にも積極的に活動しています。また、高額医療機器の共同利用施設としては、PET-CT検査、MRI検査、CT検査などを実施しています。

臨床検査事業では、中部地区の登録衛生検査所では初導入となります質量分析装置「MALDIバイオ

タイパー」を導入しました。また、平成27年度より子宮頸がん検診でHPVウイルスの採用が決定し、アボットm2000自動核酸抽出装置およびアナライザーが稼働します。

現在、医師会を挙げて展開している事業としては、地域医療ネットワーク基盤整備事業があります。これは医療機関とセンターをインターネットで繋ぎ、診療支援・オーダリング・検査画像閲覧サービス等を提供するとともに市立半田病院と診療所を繋ぐ病診連携システムの構築、また在宅医療介護支援システムの構築などです。

私たち臨床検査技師が地域の医療に貢献できる施設としてこれからも活躍していきたいと思います。



広報部からのお知らせ

公益法人愛知県臨床検査技師会のホームページ更新のご案内

昨年に引き続き公益法人愛知県臨床検査技師会のホームページを5月1日に更新予定です。

更新内容は

1. Topページを「一般の皆様へ」、「臨床検査技師を目指す皆様へ」、「会員の皆様へ」に変更します。
2. 従来の各研究班ページを統一した形式します。*
3. 愛臨技主催の参加申し込みをwebで行えるページを新設します。***

※従来の研究班ホームページも一定期間閲覧できます。詳しくは後日事務局からのお知らせに掲載します。

***web申し込みは用意が整い次第掲載します。

広報部はご意見を頂き皆様に活用していただけるホームページをめざしております。ご意見はホームページ下段の技師会メールアドレス宛にお送りください。

研 究 会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成27年5月9日(土) 15:00～17:00

場 所：名城病院 地下一階 大会議室

テ ー マ：画像診断を病理に活かす

講 師：検査技師さんにも知っておいてもらいたい画像診断

名城病院放射線部 松田 耕

画像所見と細胞・組織所見の比較

海南病院 北島 聖晃

司 会：西尾市民病院 中村 広基

内 容：今回の研究会は、病理細胞診検査を担当する我々が、判断の補助として活用している画像について学びたいと思います。多数の参加をよろしくお願いします。

研 究 会

血液検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成27年5月9日(土) 15:00～17:00

場 所：愛知県がんセンター

国際医学交流センター大会議室

テ ー マ：1. 血液像について

2. 新DIC診断基準暫定案の概要と背景

講 師：1. JA愛知厚生連 豊田厚生病院

酒巻 尚子

2. (株)LSIメディエンス営業企画管理部

診断薬グループ 馬場 光広

司 会：愛知医科大学病院 今井 正人

研 究 会

輸血検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成27年5月9日(土) 15:30～17:30

場 所：名古屋市立大学

医学研究科・医学部研究棟11階講義室A

テ ー マ：赤血球型検査ガイドライン改訂について
輸血テクニカルセミナー 2014 伝達講習

講 師：名古屋市立大学病院 小池 史泰

日進おりど病院 小木曾美紀

司 会：豊田厚生病院 木村 有里

内 容：平成26年12月に日本輸血・細胞治療学会より、『赤血球型検査ガイドライン』が改訂されました。新たに追加された項目を中心に解説します。

また、輸血テクニカルセミナー 2014に参加した班員より輸血検査における基本テクニック（血液型検査・不規則抗体検査等）について伝達講習を行います。多数のご参加お待ちしております。

2015年3月10日現在 正会員数 2,852名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。



公益社団法人愛知県臨床検査技師会

会長講演

「最近の医療情勢と臨床検査技師」

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
会 長 宮 島 喜 文



略 歴

- (氏 名) 宮島喜文 (みやじま よしふみ)
- (出身地) 長野県下伊那郡泰阜村
- (生年月日) 昭和26年7月28日生
- (現 職) 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長
長野県立木曽病院 特別顧問
- (他団体) 日本臨床検査振興会副理事長など
- (卒業校) 帝京医学技術専門学校
- (資 格) 臨床検査技師、細胞検査士
- (職 歴) 県立木曽病院、県立阿南病院検査科 技師
県衛生部県立病院課、保健予防課 主査
飯田保健所、長野保健所 課長補佐
県立木曽病院、県立須坂病院 臨床検査科長
県立こども病院 事務長、副院長兼経営管理部長
兼 病院改革室長
県立木曽病院 企画幹兼臨床検査科長、
副院長兼医療技術部長
- (趣 味) トレッキング、無農薬野菜づくり、きのこ栽培
絵画鑑賞（近代日本画）
料理（燻製、ゆずジャム等）

“日臨技を新生させ、未来を拓く”

一般社団法人

日本臨床衛生検査技師会

Japanese Association of Medical Technologists